

おうちの図工室、美術室

部屋の中の“家族”標識

対象学年 中学校 2～3年生

想定時間 最低2時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

ウチで過ごす時間が続いていますね。どんなふうに過ごしていますか？

自分自身の生活を守るため、自分自身でルール決めるのはなかなか難しいことかもしれません。

ところで、話は変わりますが、街中には「道路標識」というものがあります。

「車両や車両は通行止めです」や「工事中、注意してください」などを示すためのものです。

もし、あなたのおうちの部屋に標識をつけたら、どんな標識をつけますか？

「外にでるならマスクをつけなさい」「ゲームは30分まで」・・・

自分の正しい生活を守るため、部屋にこんな標識があったら…と思う、“私”や“私の家族”に対して効力のある（効き目のある）“家族”標識を、道路標識作成のルールにならい、考えて、作って、部屋に本当に貼ってみてください。

道路標識には、様々なものがあります。簡単に分類すると、下のようになります。それぞれで、形と色のルールがあるのがわかりますね。詳しく知りたい人は標識について調べてみましょう。

○案内標識

目的地への方向・距離などを示す。青地または緑地に白が多い。



○警戒標識

危険や注意を示す。黄色地に黒が多い。



○規制標識

禁止や命令を示す。赤の縁取りに赤の斜線が多い。



○指示標識

交通に関して必要な地点の指示を行う。青地に白が多い。



パソコンでつくるもよし、色画用紙やコピー用紙に色鉛筆やペン、絵の具で描くもよしです。大きさの制限はありません。あなたのおうちの部屋に合う大きさにしてください。

「なぜ、その“家族”標識を部屋につけようと思ったのか」について書きましょう。

あなたの部屋に必要な“家族”標識を1つでも、2つでも、3つでも・・・たくさん考えてください。

できれば、実際に“家族”標識を部屋につけた写真を撮ってください。また、標識を部屋につけてみて、感じたことを書きましょう。

ANCSとしてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

自己を深める

自分のための標識をつくることを通して、自らの生活を振り返り、反省点や改善点を見つけようとしたり、こうありたい自分について考えようとしたりすることを期待しています。

社会への広まり

形や色に一定のルールや統一した意味をつけることによって、公共場で、文字を読まなくても伝えたいことを視覚的に伝えられることについて考えます。

三観点

知識・技能

自分の表したい意図に合わせた標識になるよう、形や色彩、構図等を工夫して表している。

思考・判断・表現

よりよい自分や生活へのイメージをもち、形や色彩、構図等を活用し、表し方を考えている。

主体的に学習に取り組む態度

生活を振り返り、よりよい自分や生活について考え、表現に生かそうとしている。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば

使用した材料・道具

色画用紙、水性ペン、
両面テープ

家で過ごす時間が長くなり、カーペットに寝そべり、だらだらとテレビを見て過ごしてしまいます。それに伴って運動量もかなり減りました。テレビを見るにしても、ストレッチや筋肉トレーニングをしたりすることができます。そこで、より健康な生活を送れるようにしようと思い、だらだらとした習慣になっ
てしまっている自分の様子をアイコンにし、注意する標識をつくりました。

テレビを見ていると、その視界の中に標識が入るように、テレビのすぐ近く上にくるように壁につけました。テレビをつけて見ていると、テレビの横のカーテンはあまり気にならないのですが、標識の色が思った以上に視界の中に入ってきます。色がもつ力はすごいなと思いました。



1つ目は「めくっちゃダメ標識」です。私は幼いころ壁紙をめくってしまって怒られたことがあり、今でもはがれかけているところやめくると気持ちよさそうなものを見るとつい触りたくなってしまうので作りました。

2つ目は「塗りたて注意標識」です。家で絵を描いたときに、塗ったばかりだということを忘れて服や手に絵の具が付くことがよくあるので作りました。

作ってみて、自分は手に関する癖が多いことに気づき、せっかちなところ、感覚で突っ走ってしまうところを直していきたいと思いました。

